

# 令和元年度 市民意見交換会（福祉文教常任委員会）

《令和元年10月1日》

意見交換の相手団体：たつの市民生委員児童委員連合会

意見交換会のテーマ：各地域における民生委員児童委員の活動の現状と課題について

## 主な意見（一部抜粋）

### 【龍野地区】

- 地域によってばらつきがある。小宅は特に子どもも多いし高齢者も多いが同じ龍野地区でも反対に少なくなっている地域もある。
- 民生委員も定年があったがそれも無くなり年齢層が高くなっている。
- 若い人は仕事もあり、なかなか引き受けてもらえない。

### 【新宮地区】

- 2つの地域を受け持たなければならなく、住んでいる地域と違う地域はわかりにくい。1つの地域を一人の委員で見られればいいが、平等でないので見守りが十分でないと感じる。

### 【揖保川地区】

- 揖保川町だけが福祉会館がない。会議は総合支所の4階で行っているが、福祉会館として使える場所があればいいと思う。
- たつの市民病院まで行くのに、区域外なのであかねちゃんで行くことができない。高齢者にとって乗り換えは困難、かといってタクシーは年金生活者にとって負担になるので何とかして欲しい。

### 【御津地区】

- 引きこもりを無くすために、ふれ合い喫茶や体操などを行っている。
- 近くの住民で支え合うシステムとして「支え合いマップ」の作成に取り組んでいる。災害避難マップに置き換えることもできる。

### 【その他】

- 少子と高齢は別の問題と考えて欲しい。
- 放課後児童クラブの利用料が高い。
- 民生委員と児童委員は兼ねるが主任児童委員は受け持ち範囲が広い。主任児童委員に対する認識が薄いような気がする。
- 要支援者名簿を作って欲しいと言われるが、障がい者・障がい児の情報がもらえない。
- 充て職が多く整理して欲しい。



## 所 感

- きめ細かい対応ができるように民生委員の人数を増やして欲しい、個人情報ネックになって必要な情報が得られないなど、各地区における現状・課題はさまざまでした。
- 当委員会でも民生委員の方々からいただいた貴重なご意見を参考に、少しでも市民の方々の力になれるよう努めなければと思いました。

《令和2年2月6日》

意見交換の相手団体：龍野ボランティア協会

意見交換会のテーマ：龍野ボランティア協会の現況について

### 主な意見（一部抜粋）

- 3年前に当常任委員会と意見交換を行った時と、状況はあまり変わっていない。
- 龍野ボランティア協会は社協に属しておらず、他地区のボランティア協会との連携がうまくいっていない。
- 社協から入ってくるお金が少なく、PCや点字プリンターなど、故障した場合は個人が負担しなくてはいけない。
- 支援を必要としている人はたくさんいるはずだが、障がい者の情報が伝わってこないため、ボランティアにつなげられない。
- 要約筆記の知名度が低い。
- 高齢化しているグループが増えている。



### 福祉文教常任委員からの意見

- 社協とよく話し合い、問題点や要望をしっかりと伝えることが大切ではないか。
- 他の地区のボランティア協会との連携を深めたり、同じ活動をしているグループと交流し、情報を交換してはどうか。
- 社協が出している「ぬくもり」に団体の紹介を出してもらったらどうか。
- 民生委員を通じてサポートが必要な方につないでもらってはどうか。

### 所 管

- 福祉イベント等のチラシやプログラムなどに、ボランティアの募集や活動などを載せてもらってはどうか ・きめ細かい対応ができるように民生委員の人数を増やして欲しい、個人情報ネックになって必要な情報が得られないなど、各地区における現状・課題はさまざまでした。
- 当委員会でも民生委員の方々からいただいた貴重なご意見を参考に、少しでも市民の方々の力になれるよう努めなければと思いました。